

団体の概要書

(その1)

団体名	(ふりがな) とくていひんいりかつどうほうじん げいじゅつとけいかくかい 特定非営利活動法人 芸術と計画会議		
設立年月日	1994年 9月 9日	構成員数	40人
事業年度	4月 1日 から 3月 31日		
活動目的	芸術の探求と普及 ● 現代社会に生きる芸術の研究 ● 芸術を社会に浸透させる新たな仕組み作り ● 芸術を通じた社会教育の推進 ● 芸術を軸とした国際交流活動		
活動分野	※下記の中から選択し、○をつけてください。 1 文学 ②音楽 ③美術 4 写真 5 演劇 6 舞踊 7 能楽 8 文楽 9 歌舞伎 10 芸能 11 茶道 12 華道 13 書道 14 メディア芸術 15 その他（分野名： ）		
主な活動内容	文化施設の管理運営 展覧会の企画、開催 シンポジウム、レクチャー、ワークショップの開催 芸術に関する情報の交換、および提供 親睦と交流を目的としたイベントの開催 メディアの発行 アーティストが機能するコミュニティの育成 芸術の国際交流		
これまでの活動歴・活動実績	※ 年譜順に箇条書きで記入してください。 1999年 旧神戸移住センターで「CAP HOUSE～190日間の芸術的実験」開催 2002年 震災を機に始まったマルセイユのアーティストとの活動「Acte Kobé」実施 NPO法人化。旧神戸移住センター管理を神戸市より受託しCAP HOUSE再開 2009年 旧神戸移住センターの条例施設化とともに指定管理者として運営参加 2013年 地域の創造的なコミュニティを広げる「神戸文化祭」を開始 2016年 「See Saw Seeds」4つのアートコミュニティをつなぐ試みを開始		
主な鑑賞機会提供の取組み	※ 取組みの対象者、直近の実績、評価などについて具体的に記入してください。 コロナ禍以来「See Saw Seeds」の活動は、協力者である六甲山観光(株)の招待で、プレーメンやトゥルク(フィンランド)のアーティストとのオンラインや実際の物流を駆使して六甲ミーツ・アートに参加し多くの人に楽しんでもらった。2020年は「六甲イカスヴィラ」、2021年は「ROKKO CHANG PONG」というタイトルで、どちらも会期中数万人規模で観客が訪れた。また神戸のクリエイティブな人を繋ぐ「神戸文化祭」の活動も対面ではなかなかできなかったが、代わりに紙面で活動を展開し、多くの人に参加した。コロナ禍による沈黙はネガティブメッセージになることもあるが、関わってくれた多くの人たちのモチベーションは一定程度保たれたと感じている。		
ホームページ	(有) (URL : <a href="https://www.cap-kobe.com/">https://www.cap-kobe.com/</a> )		

寄附者へのPR等

(その2)

<p>団体の課題 (困っていること, 改善すべきだと考えていること等)</p>	<p>C.A.P.(特定非営利活動法人 芸術と計画会議)が活動を始めて28年。震災後、フランスのアーティストたちからの義援金で市民参画事業を始め、その後、市民からの寄付で活動を続けてきました。15年目に旧神戸移住センターでの活動が神戸市の指定管理事業となり、このほかの事業を一旦停止し寄付依頼を中断しました。しかし指定管理事業とは別に2016年から海外のアートグループとの交流事業など開始し、現在も発展的に継続しています。今年の課題は、今夏、六甲ミーツアートにフィンランドのアートグループと共に招待してもらっていますが、作品制作の資金やマンパワーがショートしていることです。</p>
<p>団体のビジョン (目指していること, 支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<p>震災直後、フランスのアーティストたちからの「神戸のアーティストにシンパシーを示したい」という呼びかけに応じて集まった人たちがC.A.P.の活動を作ってきました。現在も活動の中心になっている海外のアートコミュニティとの活動は、こうした経験が礎になっています。また2013年から地域の創造的な活動をしている人たちを顕在化していこうと「神戸文化祭」を始めました。C.A.P.はこうした取り組みによって、アーティストとアートがよりよく機能する社会、そしてアーティストが活動に手応えを感じられるような町づくりを目指します。</p>
<p>寄附者に対するPR</p>	<p>企業の文化活動でも、行政の文化施策でもなく、地域のアーティストがおこなって来たこの活動が28年続いています。神戸市の美術館構想に対し、理想の美術館を提案したことをきっかけに生まれたC.A.P.。1999年には廃ビルだった旧神戸移住センターを市民と大掃除して蘇らせ、8年後、現在の神戸市立海外移住と文化の交流センターが設置されました。みなさんのご支援でますます面白い地域を作っていけたらと思っています。ご支援よろしくお願ひします。</p>
<p>寄附者への返礼品</p>	<p>返礼品はありませんが、支援者の会員制度「C.A.P.サポーターシップ」の特典として、月間の印刷物に寄附者としてお名前を掲載し、毎月ご案内をお送りします。また活動記録誌、サポーターシップメンバーカード、会報誌「capsule(年3回発行)」を適時お届けします。毎年春におこなっている支援者向けのアートパーティーにご招待します。</p>

この申請書に記載している事項に間違いはありません。

令和 4年 5月 31日

団体名 特定非営利活動法人 芸術と計画会議

代表者名 下田 展久 印  
(自署の場合は印不要)